アムンディ・インベストメント・インスティテュート

ウィークリー・マーケット・ダイレクション（2026年11月9日～11月13日）



情報提供資料

Amundi Investment Solutions

Trust must be earned



“高水準の政府債務がFRBの金融政策を左右するわけではありませんが、金利が上昇すれば、すでに高い水準にある債務返済コストがさらに膨らみ、マクロ経済への影響が大きくなります。これに高水準のインフレが重なれば、債券市場のボラティリティが継続する可能性が高く、分散投資の必要性がより一層高まっています。”

モニカ・ディフェンド
アムンディ・インベストメント・インスティテュート・ヘッド

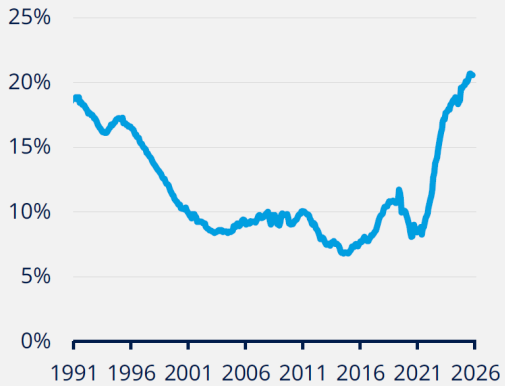
高金利で利払い費が増加

巨額の財政赤字や高水準の債務、米国の根強いインフレといった要因を背景に、債券市場は不透明感の高まりに直面しています。

こうした状況はFRBの追加利上げ観測とともに国債利回りの上昇に寄与し、米国10年物国債利回りは再び5%を突破しました。

以上を踏まえると、グローバルな視点に立った柔軟な分散投資の重要性がより一層高まっていると考えています。

米連邦政府の歳入に占める利払い費の比率が過去最高を更新



出所：ブルームバーグのデータを基にアムンディ・インベストメント・インスティテュートが作成（2026年9月30日現在）。上図のデータは直近12ヵ月の累計。

今年の米国債券利回りの上昇を背景に、資本市場では政府の財政が焦点となっています。高水準の債務や利払い費、巨額の財政赤字（歳出が歳入を上回った場合の差額）といった要素は、市場が注視する重要な指標です。図で示したように、米連邦政府の歳入に占める利払い費の比率は20%近くにまで達し、過去最高の水準となっています。事実、利払い費は連邦政府の2026会計年度（2025年10月1日～2026年9月30日）の歳出を押し上げた主要因のひとつです。今後、利払い費はさらなる増加が見込まれます。

当社では、こうした複雑な財政状況に加え、インフレが高水準にあることで、債券市場の不透明感が一段と高まることになると考えています。10月の消費者物価指数は前月比0.4%上昇と予想を上回る伸びを示し、米連邦準備制度理事会（FRB）が近く利上げを実施するという当社の見方を裏付けています。

この日に注目

11月16日 日本GDP、ユーロ圏鉱工業生産、中国小売売上高

11月17日 ユーロ圏ZEW景況感指数、米国小売売上高、米国鉱工業生産

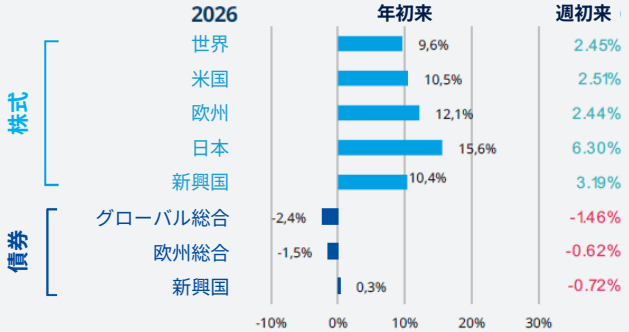
11月20日 ユーロ圏消費者信頼感指数、ミシガン大学期待インフレ率、メキシコ小売売上高

今週の市場動向

グローバル株式は、日本と米国の好調な企業決算が好感され上昇しました。大手テクノロジー企業の経営トップが突如辞任したにもかかわらず、人工知能（AI）に対する楽観論が再燃したことも、投資家心理を上向かせました。欧州株式も最高値を更新しました。債券市場では、米国インフレの高止まりや中央銀行の利上げ観測を背景に、利回りが上昇しました。その結果、非利回り資産である金（ゴールド）は魅力を失い、価格が下落しました。

株式・債券市場

資産クラスの年初来、週初来のパフォーマンス



出所：ブルームバーグ（2026年11月13日現在）。各指数の補足情報については最終ページをご覧ください。

国債利回り

2年物、10年物国債利回りと前週比の変化

	2年物		10年物	
米国	4.84	▲	5.14	▲
ドイツ	3.12	▲	3.38	▲
フランス	3.62	▲	4.92	▲
イタリア	3.50	▲	4.42	▲
英国	4.97	▲	5.33	▲
日本	1.88	▲	2.87	▲

出所：ブルームバーグ（2026年11月13日現在）。
直近1週間の変化を示したもの。補足情報については最終ページをご覧ください。

コモディティ、為替、短期金利の水準と前週比の変化

金（ゴールド） *米ドル/オンス*	原油 *米ドル/バレル*	ユーロ/米ドル	米ドル/日本円	英ポンド/米ドル	米ドル/人民元	EURIBOR 3ヵ月	T-Bill 3ヵ月
3884	89	1.102	159.7	1.32	6.67	2.78	4.23
-4.58%	*-2.5%*	*-108%*	*+0.78%*	*-10%*	*-0.0%*		

出所：ブルームバーグ（2026年11月13日現在）。各指数の補足情報については最終ページをご覧ください。

各地域のマクロ経済動向

南北アメリカ



根強いインフレで12月利上げ観測が強まる

米国の10月の消費者物価指数は前月比0.4%上昇と予想を上回りました。コア物価指数は同0.3%上昇と3ヵ月連続で予想を上回り、物価上昇圧力の根強さを示す内容となりました。食品価格が再び上昇に転じたほか、ディーゼル燃料（軽油）価格の高騰を背景に、流通コストが高止まりする恐れがあります。今回の結果を受けて、FRBが近く利上げを実施するとの観測が強まりました。

欧州



英国経済、第3四半期に底堅さを増す

英国の国内総生産（GDP）は、8月は前月比横ばいでしたが、9月は「ゼロ成長」という予想を上回り同0.2%増となりました。一方で、第3四半期のGDPは前期比0.7%増と予想通りの水準でした。サービス業がGDPの前期比増をけん引した一方で、建設業は縮小しました。9月の鉱工業生産と製造業生産はともに予想を上回りました。高インフレで家計の購買力が圧迫され続けるなかでも、幅広い分野が前月比でプラスとなったことから、英国経済が第3四半期末に底堅さを増したことがうかがえます。

アジア



インドのインフレ見通し、食品価格が焦点

インドの10月の消費者物価指数は前年同月比6.09%上昇と予想を小幅に上回りました。2年ぶりの高さであり、インド準備銀行（RBI）の許容上限も上回りました。上昇をけん引したのは食品価格で、同約9%上昇しました。食品インフレの加速は農村部でも都市部でも顕著です。それにより家計への負担が増しており、食品価格が短期的な見通しを左右する重要な要因となっています。コア物価指数も上昇を続けており、伸び率は4.5%から4.7%に拡大しました。RBIは今後、追加利上げを実施するとみられます。

備考

ページ2

株式・債券市場（チャート）

出所：ブルームバーグ。各市場の指標として次の指数を使用しています。**世界株**=MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（米ドルベース）、**米国株**=S&P 500（米ドルベース）、**欧州株**=欧州ストックス600（ユーロベース）、**日本株**=TOPIX（円ベース）、**新興国株**=MSCI新興国（米ドルベース）、**グローバル総合**=ブルームバーグ・グローバル総合（米ドルベース）、**欧州総合**=ブルームバーグ欧州総合（ユーロベース）、**新興国債券**=JPモルガンEMBI グローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）

すべての指数はスポット価格で計算されており、手数料および税金控除前の数値となっています。

国債利回り（テーブル）、コモディティ、為替、短期金利

分散投資は利益を保証するものでも、損失を防止するものでもありません。

IMPORTANT INFORMATION

This document is solely for informational purposes.
This document does not constitute an offer to sell, a solicitation of an offer to buy, or a recommendation of any security or any other product or service. Any securities, products, or services referenced may not be registered for sale with the relevant authority in your jurisdiction and may not be regulated or supervised by any
governmental or similar authority in your jurisdiction.
Any information contained in this document may only be used for your internal use, may not be reproduced or redisseminated in any form and may not be used as a basis for or a component of any financial instruments or products or indices.
Furthermore, nothing in this document is intended to provide tax, legal, or investment advice.
Unless otherwise stated, all information contained in this document is from Amundi Asset Management SAS and is as of 13 November 2026. Diversification does not guarantee a profit or protect against a loss. This document is provided on an “as is” basis and the user of this information assumes the entire risk of any use made of this information. Historical data and analysis should not be taken as an indication or guarantee of any future performance analysis, forecast or prediction. The views expressed regarding market and economic trends are those of the author and not necessarily Amundi Asset Management SAS and are subject to change at any time based on market and other conditions, and there can be no assurance that countries, markets or sectors will perform as expected. These views should not be relied upon as investment advice, a security recommendation, or as an indication of trading for any Amundi product.
Investment involves risks, including market, political, liquidity and currency risks.
Furthermore, in no event shall any person involved in the production of this document have any liability for any direct, indirect, special, incidental, punitive, consequential (including, without limitation, lost profits) or any other damages.
Date of first use: 13 November 2026
Doc ID: 6115739
The content of this document is approved by Amundi Asset Management, a French société par actions simplifiée, a portfolio management company approved by the “Autorité des marchés financiers” or “AMF” under the number GP 04000036 whose registered office is located 91-93 boulevard Pasteur, 75015 Paris – France –, under the Paris trade register number 437 574 452 RCS Paris – www.amundi.com
Photo credit: ©iStock/Getty Images Plus
MSCI Disclaimer available here

当資料は、アムンディ・インベストメント・インスティテュートが一般・参考情報の提供を目的として作成した資料を、アムンディ・ジャパン（以下、弊社）が一部翻訳したものです。当資料は、当資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入・売却の勧誘を目的としたものではありません。当資料は法令に基づく開示資料ではありません。当資料中に記載したアムンディ・インベストメント・インスティテュートの見通し、予測、予想意見等（以下、見通し等）は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。当資料に含まれる情報から生じるいかなる責務（直接的、間接的を問わず）を負うものではありません。弊社の許可なく、当資料を複製または再配布することはできません。当資料中に引用した各インデックス（指数）の著作権・知的財産権及びその他一切の権利は、各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利及び発表を停止する権利を有しています。

商号等：アムンディ・ジャパン株式会社（金融商品取引業者）　関東財務局長（金商）第350号
加入協会：一般社団法人　資産運用業協会、日本証券業協会、一般社団法人　第二種金融商品取引業協会